



# 自律的に心身恒常性維持を図る調和型健康社会の実現

## 令和3年度までの活動実績・成果の概要

### B1 コンセプト実現のための取り組み

#### A. COI-STREAM東北拠点(JST: 2013-2022)

「さりげないセンシングによる日常人間ドック」

目的：日常生活においてさりげなくセンサーおよびその解析技術で心身の状態を評価し、未病状態から健康状態に回復するための行動変容を個人の特性に応じて提供できるような社会実装を実現していくこと。

#### 1. 研究成果の概要

- 個人の特性を知る
  - 遺伝子検査基盤を日本社会に提供:  
 <日本人専用遺伝子検査Japonica Array Neo>
- 心身の状態を知って健康な行動変容へ誘導
  - a. 野菜による血圧コントロール  
 尿ナトカリ比で個人に適切な野菜摂取のための<ナトカリマップ>
  - b. デスクワーク中の腰痛予報:座位センシングデータの時系列AI解析
- 心身の状態を知る技術を開発
  - a. 生体発電型飲み込みセンサー：体温情報などの体外送信
  - b. 長時間駆動型畜電池：さりげない日常生活センシングに不可欠
  - c. 魔法の鏡：顔撮影画像から循環動態を計測
  - d. カフレス血圧評価：脈拍から血圧を高精度に推定するアルゴリズム
- 健康な行動を促す
  - a. 健診アイドル:健康行動を楽しく・わかりやすく誘導するアバター

#### 2. 「日常人間ドック」グッドデザイン賞2022授賞

体験型生活習慣改善サービスの実現へ

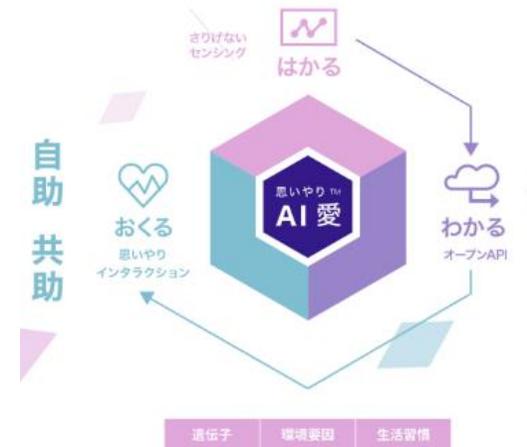
#### 3. ベンチャー創出：5社

#### 4. Business-University-Business (BUB) 体制: 企業33社以上が参画

#### B. 未来社会健康デザイン拠点(2021-)

未来人の健康な社会をデザインするCOI東北拠点の継承拠点

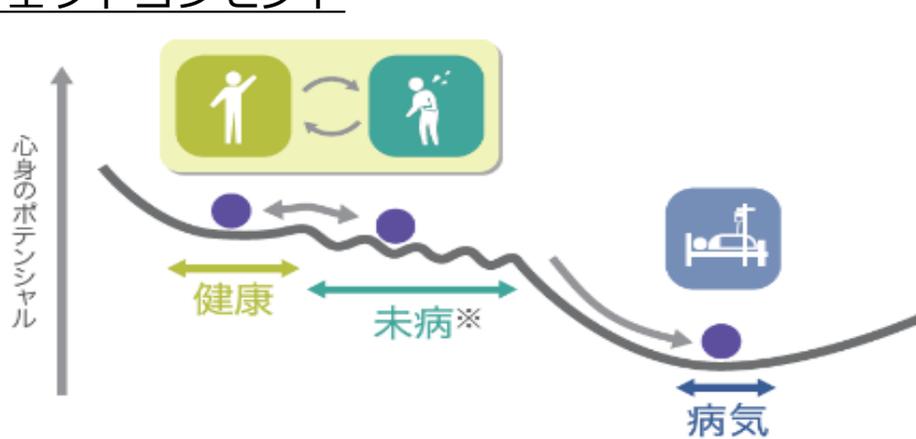
### BUB体制による11のプロジェクト



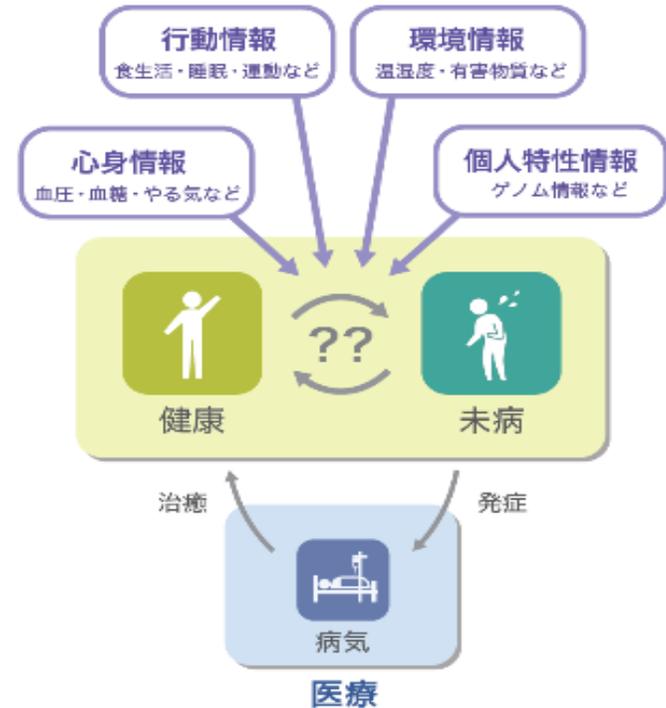


# 自律的に心身恒常性維持を図る調和型健康社会の実現

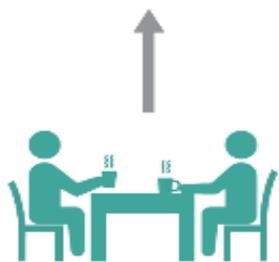
## プロジェクトコンセプト



※未病：心身の健康状態のバランスが崩れた、疾患に至る前の状態



様々なセンサーによる計測



血流・体温・環境の明るさ等



センシング

健康状態の評価

個人へフィードバック

個人の行動変容

恒常性維持

健康社会の実現